

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースを確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令で必要とされる人員、利用人数に合わせた人員配置をしています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		壁一面をホワイトボード化し、情報伝達にも使用しています。開設時より車いすを想定して施設を作っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		珪藻土を使用し、湿度、臭い管理に有効です。アロマを使用しリラックスできる環境を作っています。清潔な空間を意識しています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、毎週のMTに各自の役割分担等、情報共有を周知しています。日々改善点の共有MTをしています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者へのアンケートの実施、それに伴う改善を毎MTでしています。保護者会でもいろいろな意見を参考にしています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		HPIにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	スタッフ、利用者の評価を受けMTを行い、業務改善をしています。	スタッフ、利用者による評価をしていますが、外部評価の予定はありません。必要に応じて実施します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月、内部研修を実施しています。適宜、外部研修も参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		契約時にアセスメントを行い、支援計画書を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		統一したアセスメントシートを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		ガイドラインに沿って具体的に支援内容を設定しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		チームで立案し1か月のプログラムを公表しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		各子どもに合わせて、月、日替わりでプログラムを組んでいます。	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		各児童に合わせて個別の内容と集団の内容を組み合わせる支援をしています。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日開始前に支援確認MTを実施して児童らに合わせたプログラムを組んでいます。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終わりのMTで支援状況の確認作業と改善を話し合っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録と、情報共有を徹底し改善につなげています。	
	20	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		定期モニタリングは毎MTにて共有し見直しをしています。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者等が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		地域子育て支援課と連携して支援しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			医療ケアの必要な児童はいませんが、必要があれば各機関と連携します。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○			医療ケアの必要な児童はいませんが、必要があれば各機関と連携します。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今まで行ったことはないですが、情報共有の体制は整えています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			今まで行ったことはないですが、情報共有の体制は整えています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		地域の子供部会に参加し、研修など繋がって受けています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、幼稚園、保育所等に通っている児童が多く、特に機会を作る予定は考えておりません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		地域の協議会子ども部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳以外に送迎時やモニタリング時に報告機会を作っています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		保護者に対して定期的に講座を開いています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧な説明と重要書類を提示しています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援計画の同意を得て支援内容を実施しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		送迎時の報告、相談以外にも、保護者対象の講座を開き気軽に話ができるような機会づくりをしています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者対象の講座で保護者同士の交流の機会、及び保護者会を設けています。	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		随時、迅速に対応できる体制にあります。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログを通じて日々の活動内容や、予定、毎月の定期報告等をしています。連絡体制はメール等で常時情報を表有しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		ペーパー、端末ともロックできる場所に保管、端末は全てパスワードロックがかけられています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		ICT、ペーパー等で行っています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		定期講座を開き、地域の方も参加もできるようになっています。地域ボランティアの受け入れや町会参加もしています。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルを作成し研修を実施しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		マニュアルを作成し定期訓練を実施しています。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者に対して聞き合わせ対応をしスタッフで随時共有しています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無を確認し、個人別にわかるように張り出しています。	医師の指示書はないが、保護者から聞いた内容で計画書に支援を組み込んで対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		細かくヒヤリハットを上げる体制にあります。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止マニュアルを作成し、定期的に研修を行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		スタッフMTを行い、慎重に決定します。保護者への説明を実施し、計画書に記載しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。